

「経済の好循環実現検討専門チーム」中間報告のポイント

<ポイント>

1. デフレという悪循環を脱却し、経済の好循環を実現するためには、賃金を上げていくことが鍵。（インフレ抑制の「所得政策」に対してデフレ脱却を目指す「逆所得政策」）
2. 好循環を持続的な成長につなげていくためには、
 - (ア) プロダクト・イノベーションを通じた生産性の向上
 - (イ) 非正規雇用労働者の処遇改善 に向けた取組が必要。

日本経済はなぜデフレを脱却できなかったのか

負の循環の発生

- ・バブル崩壊、国内市場の成長期待の低下、アジア通貨危機、相次ぐ金融機関の破綻。
- ・企業は国際競争力の維持のため、「賃金の抑制」も含めたコストを削減、内部留保を蓄積。
- ・こうした個々の企業にとっての「合理的」な行動が「合成の誤謬」を生み、マクロ経済全体におけるデフレという悪循環が発生。

付加価値生産性の低迷

- ・デフレマインドが形成される中で、アニマル・スピリットを喪失。
- ・新しい需要を創出するプロダクト・イノベーションの欠落による付加価値生産性の低迷。

非正規雇用の拡大と長期化

- ・正規雇用から非正規雇用への転換が進み、平均賃金が低下 ⇒ デフレの一要因
- ・人的資本蓄積の停滞を通じて、長期的にみて生産性とイノベーションが低下、ひいては中長期的な成長力の低迷につながるおそれ。

当面の対応

賃金上昇による好循環の実現

- ・賃金上昇が、好循環を実現するために必要との共通認識を醸成することは、大きな意味。
- ・デフレ脱却のために、「賃金の上昇」を実現し、消費の拡大を喚起（「逆所得政策」としての賃上げ促進）。
- ・賃上げ促進のための政策的インセンティブは、賃金水準の向上を促す効果。

中長期的対応

生産性の向上

- ・企業は、新分野開拓やプロダクト・イノベーションを通じて付加価値を高め、単価を引き上げながら需要を創出。
- ・政府は、成長戦略の実現を通じて、イノベーションを活性化する環境を整備。

非正規雇用労働者の処遇改善等

- ・長期的にみると、人的資本の蓄積が成長力の要。
- ・正規雇用の受け皿を拡大するため、「多様な正社員」の形態を普及。
- ・非正規雇用労働者の能力開発の推進や能力に応じた適切な処遇への改善。
- ・生産性の高い分野への円滑な労働移動。